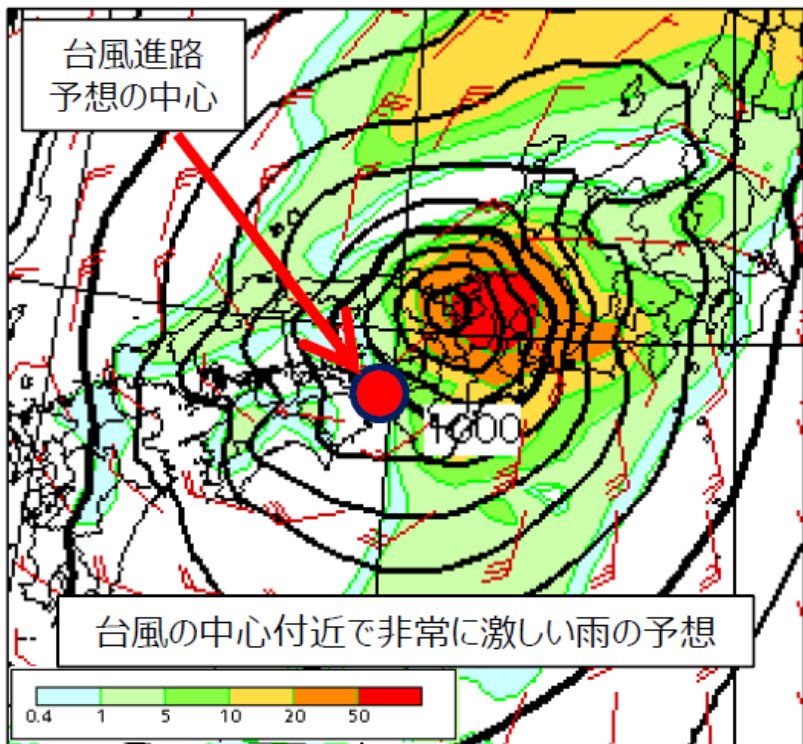


台風、大雨等異常気象に対する畜産被害防止



- ◆台風14号が17日未明～18日朝に近畿を横断する予想です。
- ◆今後、天気の急変や豪雨、突風等が生じる可能性がありますので、気象情報の把握に努めてください。
- ◆人命を第一に畜産被害が出る前にできる対策をお願いします。

京都地方気象台9月18日6時時点の予想を引用

<事前の対策>

- ・施設の必要な修繕・補強、浸水経験がある場合の土嚢等の予めの準備
- ・家畜に被害が及んだ経験がある場合の予めの避難場所確保
- ・特に酪農においては搾乳、生乳冷却、養鶏におけるファン等温度管理に関する停電時の電源確保
- ・不測の事態を想定した飼料、燃料の一定量確保(概ね1週間分)
- ・異常気象時の飼養管理、作業の変更プラン立て

<被害拡大防止のための対策>

- ・天候回復後に安全を確保した上での施設、設備の点検
- ・家畜の死亡、異常を認めた場合は家畜保健衛生所へ連絡
- ・施設等に破損、故障、汚染を認めた場合は早急に補修、洗浄、消毒
- ・汚染、腐敗していない水、飼料の家畜への給与
- ・機器等の通電再開に際しては取扱説明書で手順確認、漏電にも注意
- ・飼料作物が被害を受けた場合は品質が劣っている可能性を念頭に置く